

インフルエンザワクチン(成人接種用)の 予防接種をご希望の方に

1. インフルエンザと合併症

患者さんの咳やくしゃみにより、インフルエンザウイルスが空気中に浮かんでいたり手についたりして、気道に感染します。感染して1~5日すると、だるくなったり、急に発熱し、のどの痛み、咳、くしゃみなどが出始めますが、普通は約1週間で治ります。インフルエンザの流行年には、肺や心臓が悪かったり、高血圧、糖尿病、腎臓に病気のある方、特にお年寄りは、合併症として肺炎、気管支炎をおこして入院する方が増えてきます。

2. ワクチンの効果と副反応

インフルエンザワクチンは不活化ワクチンですので2回接種することが基本となりますが、15歳以上の方は1回で有効といわれています。ワクチンの効果について以前から論議されてきましたが、ワクチン接種を受けていれば、インフルエンザに感染しても症状が軽くすみ、重症化し入院することを予防する効果は30~70%程度といわれています。ワクチン接種に伴う副反応として、発熱や、注射部位が赤くはれたり硬くなったりします。発現頻度として発熱は100人に数人、赤くはれたりするのは10人に1人程度です。

3. 次の方は接種を受けないでください

- 1) 明らかに発熱している方(通常は37.5℃をこえる場合)
- 2) 重い急性疾患にかかっている方
- 3) 本剤の成分により、アナフィラキシーを起こしたことがある方
- 4) その他、いつも診てもらっている医師にワクチンは受けない方がいいといわれた方

4. 次の方は接種前に医師にご相談ください

- 1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患及び血液疾患などの基礎疾患のある方
- 2) 妊娠している方
- 3) 前回の予防接種を受けた時、2日以内に発熱、発疹、蕁麻疹などのアレルギーを疑う症状のみられた方
- 4) 薬の投与又は食事(鶏卵、鶏肉など)で発疹が出たり異常をきたしたことがある方
- 5) 過去にけいれんの既往歴のある方
- 6) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方

「インフルエンザワクチン接種予診票」にご記入の上、医師の診察をお受けください。もし、ふだんと変わったことがあった場合には医師にご相談ください。

医療機関名 てづか耳鼻咽喉科クリニック
院長 手塚 克彦